

【三春滝桜】

大雪被害の枝を活用した次世代への継承プロジェクト

いのち
～生命は苗木に、記憶はタンブラーと卒業証書へ～

三春町では、今年の3月3日から4日にかけての大雪で、「三春滝桜」の枝が折れる被害が発生し、折れた箇所の処理や消毒、防水などの応急処置を実施しました。

一方、大雪で折れて落下してしまった「枝」の有効活用についても検討を重ねてまいりました。

このたび、その活用方法がまとまりましたので、お知らせします。

1 接ぎ木による後継木の育成

被害発生当時には、すでに花芽が出始めていた状況にあり、接ぎ木をするには急を要する状態でした。そのため、町と包括連携協定を締結している（有）仲田種苗園様（石川町）と協働で緊急の接ぎ木作業を実施しました。

その結果、現時点で約40ポットの苗木が順調に育成されています。

これは「三春滝桜の分身」と言える貴重な苗木であり、今後は、町内の事業者等にも事業参加を呼びかけながら、後継木の育成・増産・販売など事業展開を図っていく予定です。

2 「三春滝桜」を原料とした「滝桜タンブラー」の製作と販売

滝桜の折れた枝を原材料の一部（51%）に使用した「滝桜タンブラー」を製作、販売します。

樹齢1000年以上と言われる「三春滝桜」を原料とした「滝桜タンブラー」は、非常に希少性が高い商品となり、令和9年3月頃から町内などで販売する予定です。

3 中郷小学校閉校・統合記念卒業・修了証書の製作

中郷小学校の閉校・統合にあたり、三春滝桜の折れた枝を原料に使用した記念性の高い卒業証書・修了証書を製作します。



接ぎ木の状況（令和8年7月）



落下した折損枝の状況（令和8年3月）

◆◆ 今後の活用について ◆◆

「接ぎ木育成苗木」と「滝桜タンブラー」については、町内での販売やふるさと応援寄付金の返礼品としての採用など、積極的な活用を図ってまいります。

なお、本事業による収入につきましては、三春滝桜の保全事業のために活用してまいります。